

# 議会による行政評価

町では、まちづくり基本条例に基づき行政活動を点検し、改善を図るため、平成30年度一般会計決算による行政評価（事務事業評価）を実施し、議会基本条例に基づく決算説明資料として議会に提出しています。

議会では、「福島町議会行政評価・事務事業評価要綱」を定め、それぞれの事務事業について議会側の評価を示し、議会としてのチェック機能を強化するとともに、併せて翌年度の予算へ反映させることとしています。

全議員が1事業ずつ評価した結果・評価方法は次のとおりです。

## ◎議会の行政評価結果概要

### 1. 総務教育常任委員会の内容（R元.10.28開催）

評価は42件の事務事業で、町の最終評価は、「現状にて事業を継続または拡充」とする「A」が41件、「事業の抜本的見直しを検討」とする「D」が1件となっています。

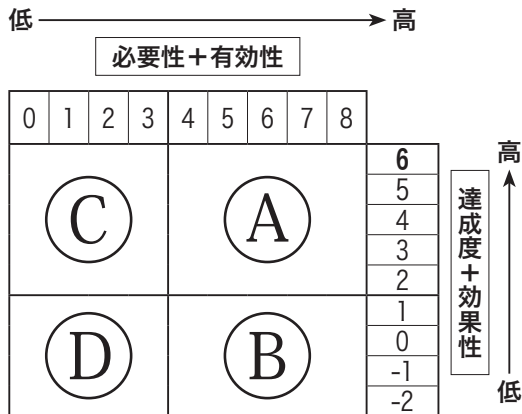
議会の評価結果は、「十分評価できる」とした「◎」が2件、「概ね評価できる」とした「○」が40件となりました。

### 2. 経済福祉常任委員会の内容（R元.10.29開催）

評価は29件の事務事業で、町の最終評価は、「現状にて事業を継続又は拡充」とする「A」が24件、「事業の進め方の改善により継続」とする「B」が4件、「事業の規模・内容等の見直しを検討」とする「C」が1件、となっています。

議会の評価結果は、「十分評価できる」とした「◎」が2件、「概ね評価できる」とした「○」が22件、「やや不足している」とした「△」が5件となりました。

## 【町の評価表】



### ① 評価の分類

- A = 「現状にて事業を継続または拡充」
- B = 「事業の進め方の改善により継続」
- C = 「事業規模・内容等の見直しの検討」
- D = 「事業の抜本的見直しを検討」

### ② 評価表の見方

「必要性+有効性」の点数と「達成度+効果性」の点数が交差したところが評価となる。例えば、必要性+有効性が5点、達成度+効果性が1点の事業は「B」の評価となります。

## 【議会の評価方法】

福島町議会行政評価・事務事業評価要綱に基づき、全議員が各事務事業の内容を総合的に判断した4段階評価を行い、「議会の最終評価」と総合的な説明を加えて「議会評価」としています。

なお、平成27年度からは評価点数ではなく、行政で評価した内容と議員が認識している評価対象事業の内容を総合的に判断し、

「◎」十分評価できる 「○」概ね評価できる 「△」やや不足している 「▲」不足しているの4段階評価としています。

# 総務教育常任委員会 所管事務事業

\* 議会の評価 ◎：十分評価できる ○：概ね評価できる △：やや不足 ▲：不足

事務事業名	事業内容	町の評価内容						議会の評価	
		必要性 + 有効性	達成度 + 効果性	項目別 点数 評価	一次 評価	二次 評価	最終 評価	評価	説明
No.1 会議録調整費	臨時職員1名を雇用し会議録を作成している	5	2	A	A	A	A	◎	目標期間の短縮を図り、引き続き迅速な会議録の作成を期待する。
No.2 情報公開費	議会だより発行、議会ホームページ運用経費ほか	5	2	A	A	A	A	◎	引き続き住民に興味を持って見てもらえるよう、更なる工夫を期待する。
No.3 職員研修費	職員の研修計画に基づいた研修の実施	5	3	A	A	A	A	○	知識研修、接遇研修、専門的研修の質的向上を図り、メンタルヘルスの研修も検討願いたい。
No.4 車両管理費	公用車両の適正な管理	4	2	A	A	A	A	○	引き続き各車両の整備点検を進め、ドライブレコーダーの全車設置を進められたい。
No.5 交通安全対策費	町民に対しての交通安全啓発活動	5	2	A	A	A	A	○	指導員の高齢化に対処する体制づくりと、効果的な啓発の工夫を図られたい。
No.6 町民運動対策費 (青少年外)	青少年問題協議会の開催、松前地区防犯協会への助成金の交付	6	2	A	A	A	A	○	全町的な運動展開になっていない。犯罪・非行の防止のための情報発信に努めてもらいたい。
No.7 インターネット事業費	役場庁舎及び外部公共施設のインターネット環境の維持保全	4	3	A	A	A	A	○	引き続きセキュリティ対策に努め、Wi-Fi環境の整備、インターネット利用拡大の取り組みを期待する。
No.8 ホームページ管理費	ホームページを運用し町民等へ行政情報を発信する。	6	2	A	A	A	A	○	統計資料等の基本的事項や行事内容を積極的に発信するよう努められたい。また、検索が容易にできるよう検討されたい。
No.9 生活館等管理費	町内14生活館等を適正に維持管理する	6	4	A	A	A	A	○	公共施設維持保全計画の基本方針に基づき、施設の維持等適切な措置を期待する。
No.10 災害対策費	防災機器の整備、防災資材確保、防災訓練等、住民の安全な生活環境を守る	7	2	A	A	A	A	○	個別受信機の良い利用のため継続的なメンテナンスが必要。特に、千軒地区の抜本的な雑音対策を検討されたい。
No.11 防災備蓄品整備事業費	憂さ衣・減殺に対応するため、防災資機材等の備蓄を図り、住民生活の安全な環境を整える。	7	2	A	A	A	A	○	災害発生時、遅滞なく対応できる備蓄品の整備を期待する。発電機は、ガソリン以外の機種も検討されたい。
No.12 町内会連合会助成費	福島町町内会連合会の活動を支援するための助成金の交付	6	3	A	A	A	A	○	住民参加を目指した住民活動の統一的な組織体制を検討されたい。
No.13 文書広報費	町広報紙の発行	5	4	A	A	A	A	○	今後とも町民に分かりやすい広報誌の発行に努めるとともに、ちらしの集約化等を検討されたい。
No.14 町民運動対策費 (コミュニティ)	コミュニティ運動推進協議会への助成金の交付	6	3	A	D	D	D	○	町内会連合会とコミュニティ協議会の統合は理解する。全町的な運動展開は更に厳しさを増すと思慮するが、しっかりした活動を期待する。
No.15 バス待合所管理費	バス待合所(5カ所)の維持管理	5	3	A	A	A	A	○	今後も利用者にとって快適な施設の維持管理を期待する。

# 総務教育常任委員会 所管事務事業

\* 議会の評価 ◎：十分評価できる ○：概ね評価できる △：やや不足 ▲：不足

事務事業名	事業内容	町の評価内容						議会の評価	
		必要性 + 有効性	達成度 + 効果性	項目別 点数 評価	一次 評価	二次 評価	最終 評価	評価	説明
No.45 教育委員会費	政治的中立性や継続性、安全性の確保、地域住民の意思の反映のため、全国すべての自治体に設置	10	3	A	A	A	A	○	今後とも町の教育の状況を的確に把握し、活発な議論が展開されることを期待する。
No.46 教育関係団体・大会参加助成費	教職員団体への助成、児童生徒の全道・全国大会参加費用の助成、学校給食費の無償化	8	4	A	A	A	A	○	各種団体等の状況等を十分把握し、助成事務を執行されたい。
No.47 福島商業高等学校存続対策費	入学時の奨励金や検定受験等の助成ほか	7	3	A	A	A	A	○	高校と連携の上、魅力ある学校づくりに邁進されたい。
No.48 友好町交流事業費	長野県木曾町、長崎県松浦市との中学生交流	6	3	A	A	A	A	○	三市町交流事業を推進するとともに、墨田区との交流の展開を期待する。
No.49 A L T 招致費	英語指導助手 2 名招致	7	4	A	A	A	A	○	引き続き英語教育の充実に努力されたい。
No.50 児童生徒輸送費	児童生徒の通学、学校行事、各種大会参加等への輸送	9	4	A	A	A	A	○	現状の児童生徒送迎等を維持されたい。
No.51 就園・就学奨励援助費	特別支援学級奨励費、要・準要保護就学援助費の交付	8	5	A	A	A	A	○	引き続き対象世帯の経済的負担を支援されたい。
No.52 奨学金貸付費	経済的理由により高校、大学等に就学が困難な学生への奨学資金貸付	9	4	A	A	A	A	○	国の動向を見ながら、給付型奨学金の検討を進められたい。
No.53 基礎学力向上支援事業費	中学校生徒個々の基礎的理解度の向上支援授業、小中教諭の先進地視察研修	6	4	A	A	A	A	○	時代の流れに応じた独自の支援策を展開されたい。
No.54 教員住宅整備事業費	教員の生活拠点となる住環境の整備・管理	5	2	A	A	A	A	○	引き続き計画的な整備を進められたい。
No.55 私立学校振興費	私立幼稚園への管理運営費の助成金交付	6	4	A	A	A	A	○	幼児教育の充実が図られている。人口割合による目標数値の改定が必要である。
No.56 小学校管理費	小学校の適正な管理運営、学校施設等の維持整備	10	3	A	A	A	A	○	児童が快適な環境で学習できるよう施設の長寿命化対応等に努められたい。
No.57 中学校管理費	中学校の適正な管理運営、学校施設等の維持整備	10	2	A	A	A	A	○	生徒が快適な環境で学習できるよう施設の長寿命化対応等に努められたい。
No.58 学校給食センター費	児童・生徒への学校給食の充実	8	3	A	A	A	A	○	米等の地域食材の利用割合を上げ、メニューに工夫を加え、残さず食べられるおいしい給食の提供に努められたい。

# 総務教育常任委員会 所管事務事業

\* 議会の評価 ◎：十分評価できる ○：概ね評価できる △：やや不足 ▲：不足

事務事業名	事業内容	町の評価内容						議会の評価	
		必要性 + 有効性	達成度 + 効果性	項目別 点数 評価	一次 評価	二次 評価	最終 評価	評価	説明
No.59 学校給食センター施設維持管理費	学校給食センターの施設・設備等の維持管理	7	2	A	A	A	A	○	給食の提供に支障のないよう、安心安全な維持管理に努められたい。
No.60 社会教育総務費	社会教育の全般的な推進	6	3	A	A	A	A	○	町の社会教育の状況を的確に把握し、指導体制の確立と活発な事業展開を期待する。
No.61 読書活動費	図書室（福祉センター内）の運営	11	3	A	A	A	A	○	これからも、より町民に親しまれるような運営を期待する。
No.62 成人教育費	学級講座開催、ブックスタート事業・高齢者学級の運営、ふくしま女性の会・PTA連合会の運営費助成	7	2	A	A	A	A	○	異世代間の交流が図られているが、引き続き住民ニーズを把握し、リーダー養成に努められたい。
No.63 青年教育費	教育委員会主催の成人式、実行委員会（新成人）主催の成人祭の開催運営助成	8	3	A	A	A	A	○	成人式の在り方の検討を進めるとともに、青年教育の新たな展開を検討されたい。
No.64 少年教育費	小中学生を対象とした青少年主張大会、吉岡小学校学校開放事業、少年対象講座の開催	7	3	A	A	A	A	○	通学合宿や福島学ジュニアなど、新しい事業も取り入れているが、さらに積極的な展開を期待する。
No.65 芸術・文化費	芸術鑑賞事業、文化団体組織育成事業	7	3	A	A	A	A	○	新たな展開を期待する。
No.66 文化財保護費	文化財調査委員会議の開催、伝統文化の保存・伝承、文化財保護思想の普及	8	3	A	A	A	A	○	チロップ館を活用した専門的な文化財保護活動を期待する。
No.67 保健体育総務費	スポーツ推進会議の開催、各種社会体育事業、各団体への運営費助成	6	2	A	A	A	A	○	町の保健体育の状況を的確に把握し、指導体制の確立と活発な事業展開を期待する。
No.68 総合体育館運営費	総合体育館施設の維持管理運営	6	2	A	A	A	A	○	利用者の視点に立った維持管理に努められたい。
No.69 町民プール運営費	町民プール施設の維持管理運営	7	2	A	A	A	A	○	町民プールの有効活用を進められたい。
No.70 ファミリースポーツ公園管理費	ファミリースポーツ公園（パークゴルフ場）施設の維持管理運営	6	1	B	A	A	A	○	利用者が高齢化等で減少する中で、児童生徒等の利用を促進するPR等の検討をされたい。
No.71 福祉センター運営費	福祉センター施設の維持管理運営	5	2	A	A	A	A	○	音響設備の点検・整備等、施設の適切な維持管理に努められたい。

## 来年度の評価に向けて【両委員会共通意見】

現状の評価方法の達成度・効果性では適切な評価とならない項目も見受けられるため、評価シートの見直しを始めとした評価方法全般の改善と、目標設定のハードルを上げるなどの検討を更に進められたい。

# 経済福祉常任委員会 所管事務事業

\* 議会の評価 ◎：十分評価できる ○：概ね評価できる △：やや不足 ▲：不足

事務事業名	事業内容	町の評価内容						議会の評価	
		必要性 + 有効性	達成度 + 効果性	項目別 点数 評価	一次 評価	二次 評価	最終 評価	評価	説明
No.16 戦没者追悼式事業費	戦没者を追悼する式典	5	3	A	A	A	A	○	遺族会とも協議のうえ、戦争の無い平和の誓いを行う行事として、防災無線を活用した全町的な黙とうをするなど、新たな展開を期待する。
No.17 社会福祉費	社会福祉団体への補助金 (社会福祉協議会外)	4	2	A	A	A	A	○	引き続き高齢者や低所得者の生活安定のため、社会福祉業務全般について適切に執行願いたい。
No.18 高齢者行事費	敬老会、高齢者スポーツ大会の開催	5	2	A	A	A	A	○	全町的な行事の継続については評価します。今後とも趣向を凝らし参加者に楽しんでいただけるよう期待します。
No.19 在宅福祉事業費	老人クラブ連合会への補助	5	2	A	A	A	A	○	老人クラブの活発な活動に期待します。
No.20 吉岡総合センター管理運営費	吉岡総合センターの維持管理	4	3	A	A	A	A	◎	利用者のニーズに合った適切な管理運営に努められたい。
No.21 学童保育費	授業終了後の保育に欠ける学童の保育	6	2	A	A	A	A	○	教育委員会と連携し、特色を持った運営を期待する。
No.22 ごみ減量化対策費	家庭から排出される生ごみの自家処理機購入に対する助成	7	0	B	B	B	B	△	可燃ごみ排出量は減少しておらず、町民に対する生ごみの水切り徹底、無駄なごみを出さない生活様式の改善を徹底指導するよう検討されたい。 (3R：リデュース、リユース、リサイクルの周知徹底)
No.23 保育所費	福島保育所(定員60名)の運営	7	3	A	A	A	A	○	教育委員会と連携し特色のある認定こども園を期待する。年齢バランスを考えた正職員の採用を検討願いたい。
No.24 社会福祉総務費	社会福祉団体活動支援、高齢者・障がい者福祉増進、寝たきり老人介護者手当支給	6	3	A	A	A	A	○	社会福祉業務全般について、適切に執行願いたい。
No.25 重度心身障がい者等タクシー料金助成事業費	病院等へ通院するためのタクシー料金の一部を助成	5	4	A	A	A	A	○	引き続き適切に執行願いたい。
No.26 老人福祉費	高齢者等に生活支援サービスを提供し、緊急時の連絡体制の整備を図る	5	2	A	A	A	A	○	検証を行い、高齢者に対する利便性のある事業として一本化することも必要ではないか。
No.27 健康づくり推進費	健康づくり推進員の配置等による町民の健康増進	6	3	A	A	A	A	○	健康づくり推進員と保健師が連携しながら、日常生活の中で健康に対する意識の醸成を促す活動に力点を置かれたい。
No.28 医療対策費 (保健衛生総務費)	在宅当番医制運営事業への負担金、保健師等に対して修学資金貸付	5	2	A	A	A	A	○	毎年度貸付実績がない状況であることから、その要因を分析し、今後の対応を検討すべきである。
No.29 医療対策費 (医療対策費)	子ども医療費に係る福祉医療システムの管理、日曜当番医制による町民健康保持	7	3	A	A	A	A	○	広域的な取り組みを進められたい。

# 経済福祉常任委員会 所管事務事業

\* 議会の評価 ◎：十分評価できる ○：概ね評価できる △：やや不足 ▲：不足

事務事業名	事業内容	町の評価内容						議会の評価	
		必要性 + 有効性	達成度 + 効果性	項目別 点数 評価	一次 評価	二次 評価	最終 評価	評価	説明
No.30 老人保健費	40歳から64歳の町民の疾病の予防、治療、機能訓練等の健康増進事業の実施	7	4	A	A	A	A	○	町立診療所と連携した在宅リハビリ（作業療法士等の配置）を充実させるための検討をされたい。
No.31 活性化センター管理運営費	「あづま〜る」施設の管理運営	5	2	A	A	A	A	○	地域文化の活動拠点としての利用と、食や歴史等の町内外への情報発信を期待する。
No.32 多面的機能支交付金事業費	多面的機能支交付金事業を実施している団体への活動経費の交付	5	2	A	A	A	A	○	地域活動組織と連携し、円滑な事業展開を期待する。
No.33 熊等による被害対策費	熊等の有害鳥獣の被害防止と危険個所の巡回	6	2	A	A	A	A	○	ハンター後継者の確保に努力し、捕獲後の処理負担を軽減するための協力体制の構築と助成金の増額を検討すべき。
No.34 利子補給事業費	漁業者への貸付に対する融資機関への利子補給	8	5	A	A	A	A	○	関係機関と連携し、円滑に事務を進められたい。
No.35 水産加工振興協議会補助費	協議会の運営に対する補助	6	2	A	A	A	A	○	原料不足と価格高騰のため、当該補助の検証をしながら、基幹産業に対する強力な振興策を検討願いたい。
No.36 水産多面的機能発揮対策事業費	水産業が持つ多面的機能を発揮させるために活動している組織への支援	5	2	A	A	A	A	○	活動組織と連携し、円滑な事業展開を期待する。
No.37 漁村環境改善総合センター運営費	福島・吉岡漁村環境改善総合センターの管理運営	5	1	B	C	C	C	△	福島については、改修し現状維持に努められたい。吉岡については、老朽化により使用休止していることから評価対象から除外すべきである。
No.38 労働諸費	雇用保険の手続き、職業紹介、職業援護相談所への助成	9	3	A	B	B	B	△	福島職業援護相談所は解散したが、職業紹介等の効果的な事業の改善、新規事業の工夫を期待する。
No.39 地場産業開発研究事業費	福島町地場産業開発研究会への補助金の交付	6	1	B	A	B	B	△	地場産業開発研究会の設立趣旨を再認識し、構成団体・事業者の主体的な参画を喚起する対応が必要である。
No.40 観光振興費	観光協会への補助、新聞、ラジオ等を活用したPR事業	8	1	B	B	B	B	△	当町の観光事業の実態として、観光協会やまちづくり工房が単独での体制確保は困難であり、早期に町の方針を示し、体制の充実を図るよう指導・助言されたい。
No.41 横綱記念館管理運営費	横綱記念館の管理運営	5	2	A	A	A	A	○	九重部屋あつての記念館ということを意識し、貴重な資料を無駄にすることなく両横綱の偉業を顕彰し、大切に引き継いでいくことを期待する。購買グッズの充実についても検討されたい。
No.42 特産品センター管理費	特産品（スルメ、コンブ）販売施設の管理運営	8	3	A	A	A	A	○	道の駅としての評価が低い現状を踏まえ、内容充実を図るための再検討が必要である。
No.43 青函トンネル記念館管理運営費	青函トンネルの工事記録や技術情報、等のトンネル文化を後世に伝える施設の管理運営	7	2	A	A	A	A	○	情報発信が不足している。イベントも含めて積極的な施設の利活用を考え、第2の青函トンネル構想などの企画展示に積極的に取り組まれたい。
No.44 街灯料助成事業費	街路灯設置及び街灯料の助成	7	3	A	A	A	A	◎	他の公共施設等のLED化も期待する。